

徳地の森でよさこい合宿 ～踊りでつながれ！ヨイヤッサー！～

平成31年2月16(土)～17日(日)

【目的】よさこい演舞の体験を通して、表現することの楽しさや達成感を味わう。

大学生との交流を通して、将来の自己イメージの獲得を図る。

【参加者】小学生56名、中学生1名 合計57名

【プログラムの内容】

1日目

- 10:30 はじめの会
- 10:45 ふれあいタイム(レクリエーション)
- 11:45 演目の選択(4曲から踊りたい曲を1曲選ぶ)
- 13:30 踊りの練習
- 17:20 山口県立大学よさこい部「奄美連合萩組」のみなさんへ質問タイム
- 18:30 踊りの練習

2日目

- 9:15 踊りの練習
- 11:00 道の駅「仁保の郷」へ移動
- 14:15 演舞発表会

講師：山口県立よさこい部「奄美連合萩組」のみなさま



山口県立大学奄美連合萩組のみなさんには、毎年本所を利用していただいている。その際、彼女たちの笑顔や凡事徹底される姿が素晴らしく、ぜひ小学生や中学生達に将来のモデルとして関わってもらいたいと思い、講師をお願いした。

踊りの練習



4曲の中から自分が踊ってみたい曲を1曲選び、2日間たくさん練習をした。よさこい演舞は自分だけではなく、全員が揃って踊ることで、素晴らしい演舞ができるということを講師の方に教えていただいた。

初めは緊張もあり、思い通りにいかない子供の姿が見られた。しかし、徐々に講師の方のアドバイスや人柄を信頼し、活動に慣れていった。

そして、みんなで上手に踊ることができるように、小グループを作って見せ合いながら踊りの確認をしたり、よりよくなるためのアドバイスをかけ合ったりしていた。また、休憩時間になると参加者が自主的に音楽をかけ、練習する姿をみることができた。

講師のみなさんへ質問タイム

質問タイムの時間には、「よさこいを始めたきっかけ」「どうやったら上手に踊ることができるのか」「よさこいをやっていると嬉しかったこと」「普段の生活について」など、大学生に聞いてみたいことをたくさん質問していた。大学生から参加者への質問もあり、とても和気あいあいとした時間となった。

演舞発表会



道の駅「仁保の郷」の屋外ステージで、2日間の成果を発表する演舞発表会を行った。100人近くのお客さんを目の前に、笑顔で楽しそうに演舞している姿はとても輝いていた。

よさこい合宿を通して、踊りだけでなく、笑顔や声の出し方を教えていただいた。また、山口県立大学奄美連合萩組の皆様から、子供たちが「時間を守り、考えて行動する姿」「自主的に練習をする姿」「チーム一丸となる姿」などたくさんのすばらしい姿を見せてくれ、有意義な学びを提供することができた。



【参加者の声】 「少し恥ずかしかったけど笑顔で踊ることで恥ずかしくなくなった。」「踊りはあまり得意ではなかったけれどみんなと協力して仲良くできた。」「みんなと楽しく踊ることができてよかった。」「初めてよさこいを踊ったけど楽しく踊れた。」などの声があった。

【成果】 全体満足度「4」は95%、「3」は5%であった。大学生から見習いたいと思ったことで、「笑顔」「挨拶」「返事」「時間のメリハリをつけている」といった記述が多く見られ、大学生が子供達の将来のモデルとなっていたことが伺えた。

【課題】 天候によって発表会場が変わると保護者への負担がかかるため、天候に関係なく実施できる会場を探す必要がある。また、会場の危機管理や動線をしっかり確認する必要がある。バス2回に分けて会場に入るため、先に会場入りした参加者の余った時間に何をさせるか算段しておく必要がある。